

# 建設業の 労働災害防止対策のポイント

10年間の死傷災害に学ぶ



安全・健康は



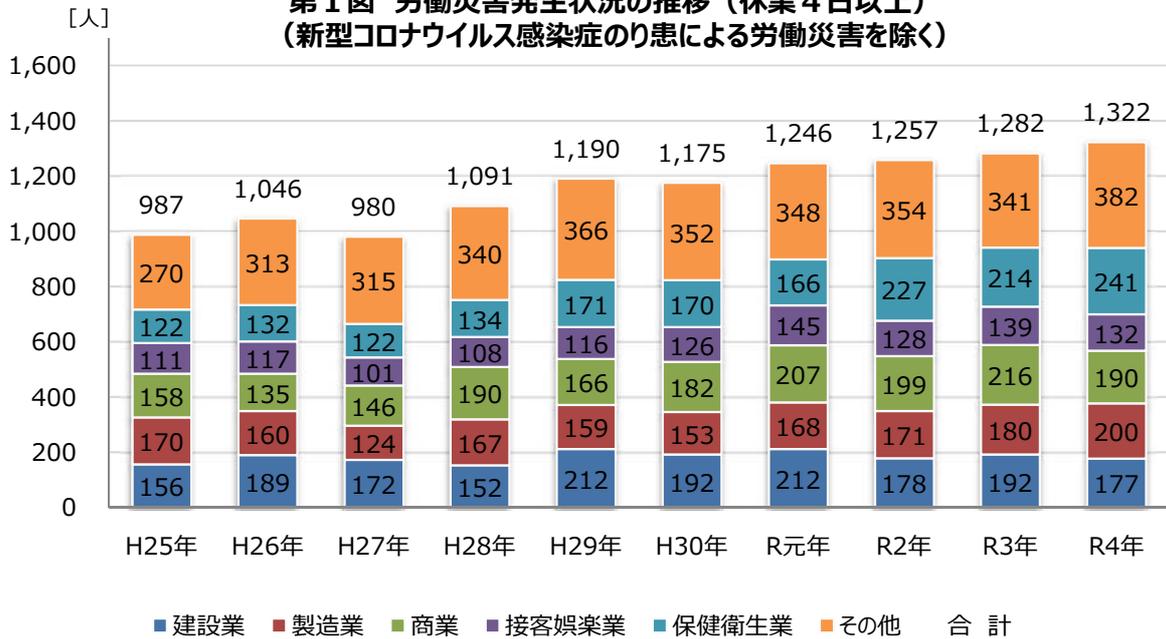
建設現場の原点



令和5年（2023年）版  
厚生労働省 沖縄労働局

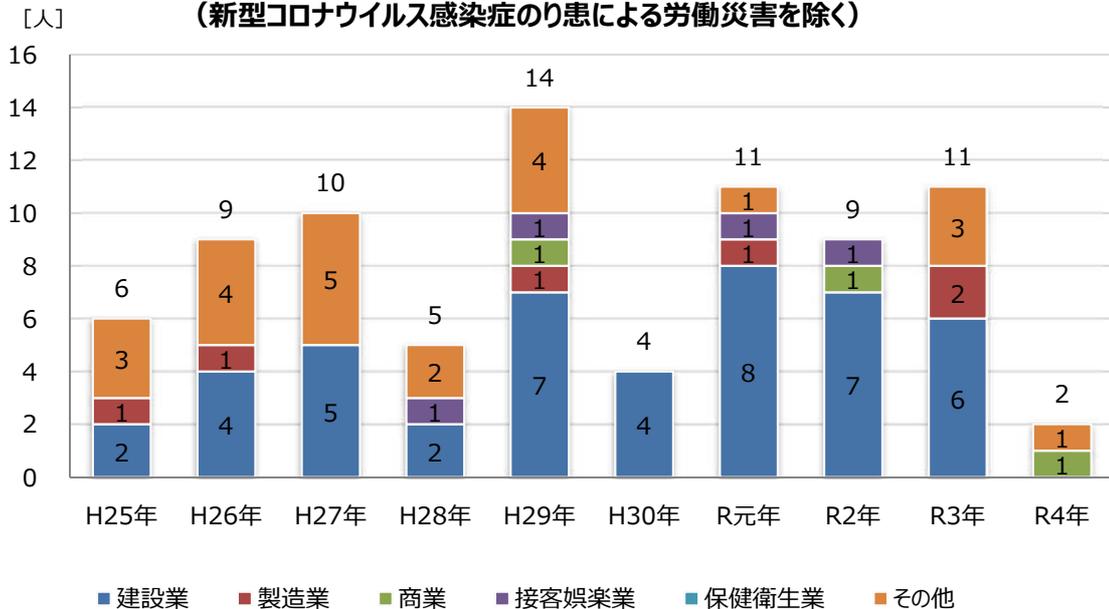
# ①労働災害の概況

第1図 労働災害発生状況の推移（休業4日以上）  
（新型コロナウイルス感染症のり患による労働災害を除く）



県内における建設業の労働災害による死傷者数（休業4日以上）は、平成25年から令和4年の10年間で、毎年平均183.2人、全産業の15.8%を占めております。令和4年は177人で前年比15人減少し全産業の13.4%を占めております。

第2図 労働災害発生状況の推移（死亡）  
（新型コロナウイルス感染症のり患による労働災害を除く）



平成25年から令和4年の10年間で、建設業では毎年平均4.5人、全産業の55.6%の死亡災害が発生しています。令和4年は死亡災害が0人となりました。

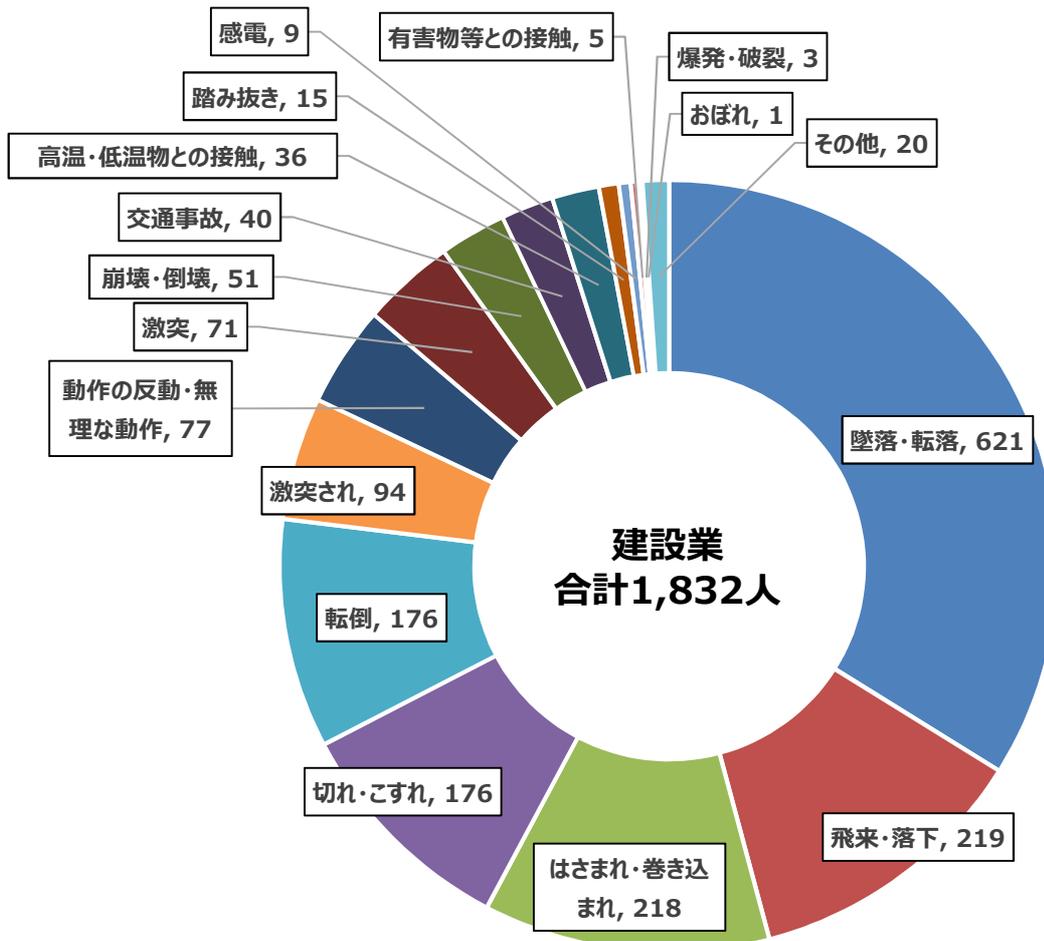
## ②建設業における労働災害

### (1) 事故の型

平成25年から令和4年までの10年間に発生した休業4日以上<sup>1</sup>の死傷災害を「事故の型」別にみると、第3図に示すとおり、重篤な災害につながる「墜落・転落」災害が33.9%（621人）を占めるほか、「飛来・落下」災害、「はさまれ・巻き込まれ」災害、「切れ・こすれ」災害、「転倒」災害も多く発生しています。

1. 墜落・転落（人が落ちること。車両系機械等とともに転落することを含む。） … 621人（33.9%）
2. 飛来・落下（飛んでくるもの・落ちてくるものが人にあたること。） … 219人（12.0%）
3. はさまれ・巻き込まれ（挟まれ・巻き込まれる状態でつぶされ・ねじられること。） … 218人（11.9%）
4. 切れ・こすれ（こすられること。こすられることにより切れること。刃物等により切れること。） … 176人（9.6%）
4. 転倒（ほぼ同一平面上で転ぶこと。） … 176人（9.6%）
6. 激突され（飛来・落下や崩壊・倒壊を除き物が人にあたること。交通事故を除く。） … 94人（5.1%）
7. 動作の反動・無理な動作（重い物を持ち上げて腰をぎっくりさせたというように身体の動き、不自然な姿勢、動作の反動などが起因して、すじをちがえる、くじき、ぎっくり腰およびこれに類似した状態になる場合をいう。） … 77人（4.2%）
8. 激突（墜落・転落や転倒を除き人が物にあたること。車両系機械等とともに激突することを含む。交通事故を除く。） … 71人（3.9%）

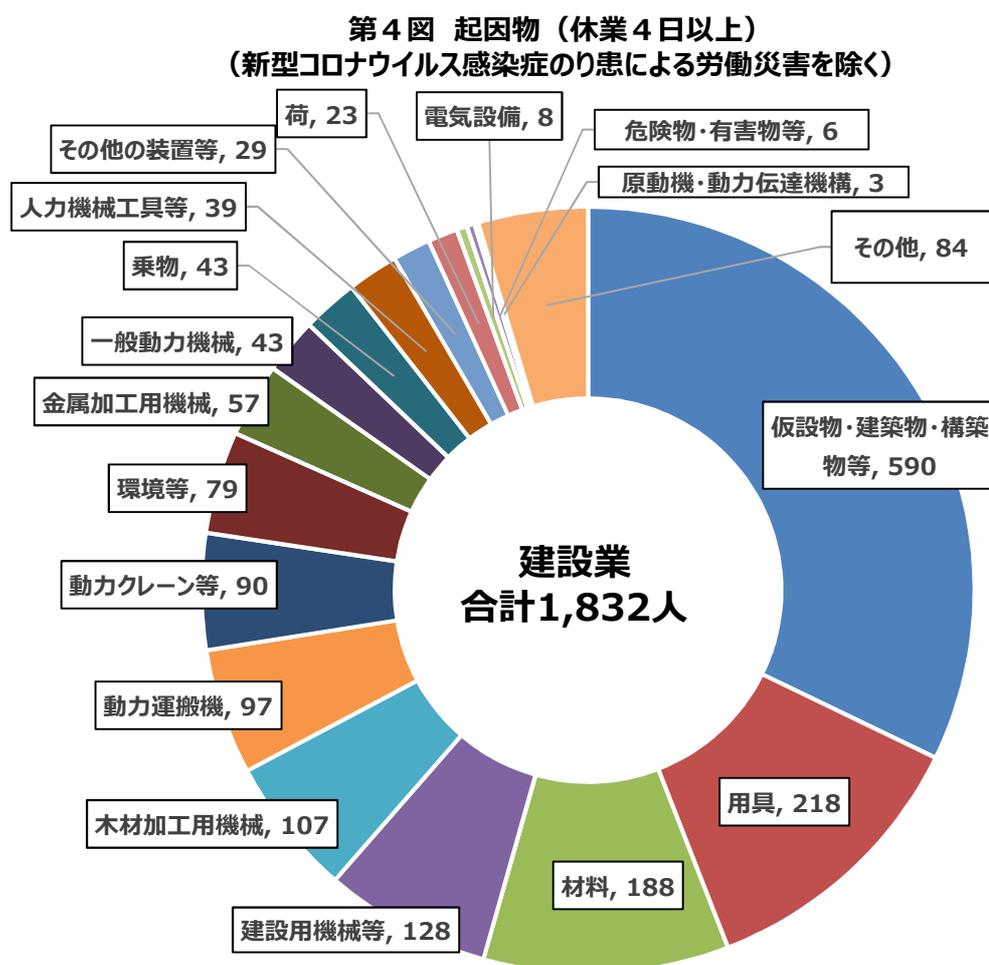
第3図 事故の型（休業4日以上）  
（新型コロナウイルス感染症のり患による労働災害を除く）



## (2) 起因物

平成25年から令和4年までの10年間に発生した休業4日以上死傷災害を「起因物」（災害発生のもととなったもの）別にみると、第4図に示すとおり、「墜落・転落」災害や「転倒」災害の起因物となることが多い「**仮設物・建築物・構築物等**」が**32.2%（590人）**を占めるほか、「墜落・転落」災害や「飛来・落下」災害の起因物となることが多い「**用具**」が**11.9%（218人）**、重篤な災害につながりやすい「**重機等（「建設用機械等」「動力クレーン等」「動力運搬機」）**」に起因する災害も多く発生しています。

1. 仮設物・建築物・構築物等（足場、支保工、階段、開口部、屋根、作業床、歩み板、通路、建築物、構築物等） … 590人（32.2%）
2. 用具（はしご、脚立、踏台、玉掛け用ロープ等） … 218人（11.9%）
3. 材料（木材、鋼材、ねじ、釘、石、砂等） … 188人（10.3%）
4. 建設用機械等（トラクターショベル、ドラグショベル、パワーショベル、くい打機、ローラー、コンクリートポンプ車、高所作業車等） … 128人（7.0%）
5. 木材加工用機械（丸のこ盤、かんな盤、チェーンソー等） … 107人（5.8%）
6. 動力運搬機（トラック、ミサ車、フォークリフト、コンバ等） … 97人（5.3%）
7. 動力クレーン等（クレーン、移動式クレーン、エレベーター、建設用リフト等） … 90人（4.9%）
8. 環境等（地山、岩石、立木、海、川、高温・低温環境等） … 79人（4.3%）



# ③建設業における死亡災害

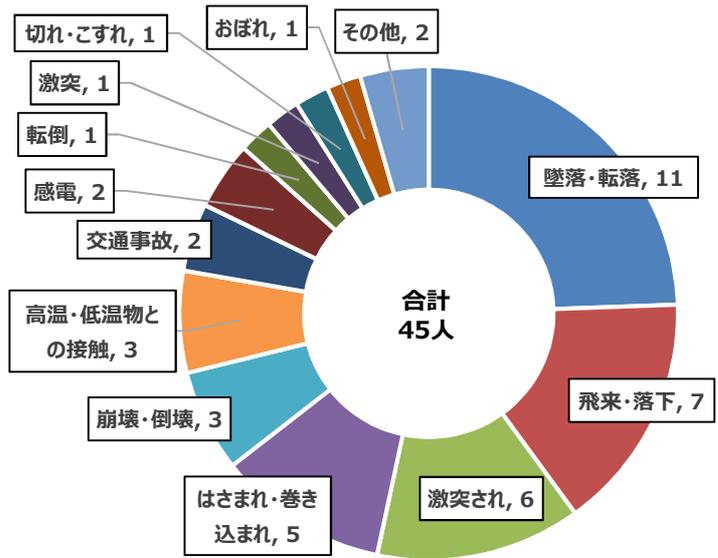
沖縄県内における建設業で、平成25年から令和4年までの10年間に発生した死亡災害について、その発生状況を分析したところ、次のとおりとなっています。

## (1) 事故の型

死亡災害を「事故の型」別にみると、第5図に示すとおり、死傷災害の多発傾向と同様に「**墜落・転落**」災害が**最多の11人(24.4%)**であるほか、「**飛来・落下**」災害や「**激突され**」災害も死亡につながりやすくなっています。

1. 墜落・転落	… 11人 (24.4%)
2. 飛来・落下	… 7人 (15.6%)
3. 激突され	… 6人 (13.3%)
4. はさまれ・巻き込まれ	… 5人 (11.1%)
5. 崩壊・倒壊	… 3人 (6.7%)
5. 高温・低温物との接触	… 3人 (6.7%)
7. 交通事故	… 2人 (4.4%)
7. 感電	… 2人 (4.4%)
9. 転倒	… 1人 (2.2%)
9. 激突	… 1人 (2.2%)
9. 切れ・こすれ	… 1人 (2.2%)
9. おぼれ	… 1人 (2.2%)

第5図 事故の型 (死亡)  
(新型コロナウイルス感染症のり患による労働災害を除く)

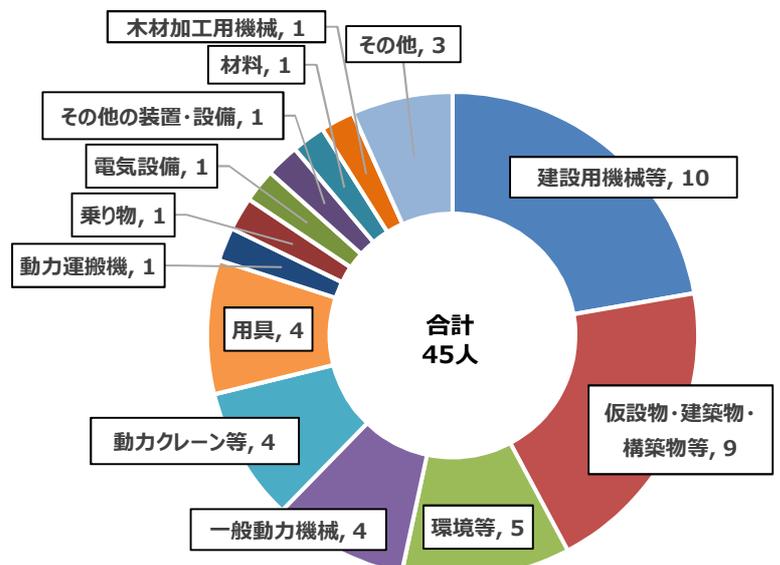


## (2) 起因物

死亡災害を「起因物」別にみると、第6図に示すとおり、「激突され」災害の起因物となることが多い「**建設用機械等**」が**10人(22.2%)**、「墜落・転落」災害の起因物となることが多い「**仮設物・建築物・構築物等**」が**9人(20.0%)**で多くなっています。

1. 建設用機械等	… 10人 (22.2%)
2. 仮設物・建築物・構築物等	… 9人 (20.0%)
3. 環境等	… 5人 (11.1%)
4. 一般動力機械	… 4人 (8.9%)
4. 動力クレーン等	… 4人 (8.9%)
4. 用具	… 4人 (8.9%)
7. 電気設備	… 1人 (2.2%)
7. 木材加工用機械	… 1人 (2.2%)
7. 動力運搬機	… 1人 (2.2%)
7. 乗り物	… 1人 (2.2%)
7. その他の装置・設備	… 1人 (2.2%)
7. 材料	… 1人 (2.2%)

第6図 起因物 (死亡)  
(新型コロナウイルス感染症のり患による労働災害を除く)



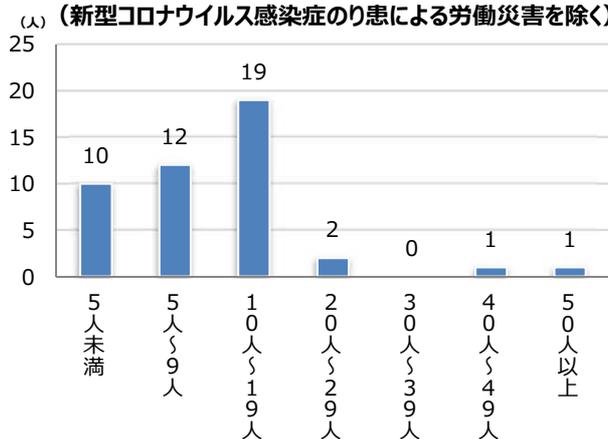
### (3) 規模別

死亡災害が発生した事業場を規模（労働者数）別にみると、第7図に示すとおり、

10人～19人の規模	… 19人 (42.2%)
5人～9人未満の規模	… 12人 (26.7%)
5人未満の規模	… 10人 (22.2%)
20人～29人の規模	… 2人 (4.4%)
40人～49人の規模	… 1人 (2.2%)
50人以上の規模	… 1人 (2.2%)

の順に多く発生しており、事業場の規模が小さいほど多発しており、全体の**91.1%**が労働者数20人未満の事業場です。

第7図 規模別（死亡）  
(新型コロナウイルス感染症のり患による労働災害を除く)



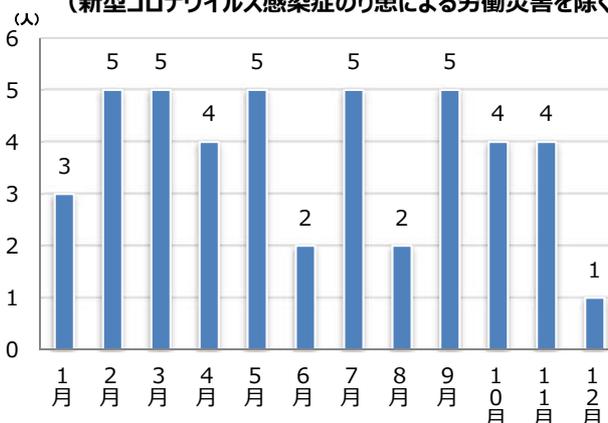
### (4) 月別

死亡災害が発生した月別にみると、第8図に示すとおり、

2,3,5,7,9月	… 5人 (11.1%)
4,10,11月	… 4人 (8.9%)
1月	… 3人 (6.7%)
6,8月	… 2人 (4.4%)

の順に多く発生しております。

第8図 月別（死亡）  
(新型コロナウイルス感染症のり患による労働災害を除く)



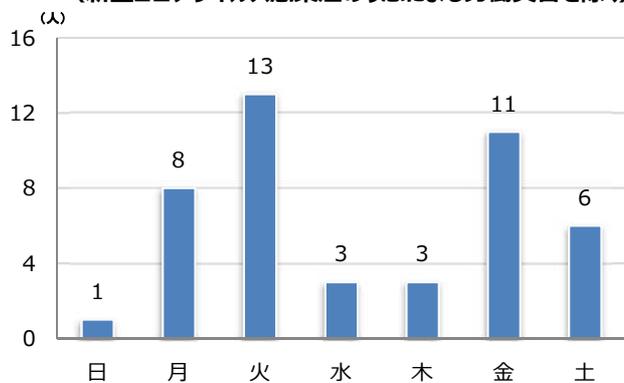
### (5) 曜日別

死亡災害が発生した曜日別にみると、第9図に示すとおり、

月曜日	… 8人 (17.8%)
火曜日	… 13人 (28.9%)
水曜日	… 3人 (6.7%)
木曜日	… 3人 (6.7%)
金曜日	… 11人 (24.4%)
土曜日	… 6人 (13.3%)
日曜日	… 1人 (2.2%)

となっており、**火曜日**に多く発生しています。

第9図 曜日別（死亡）  
(新型コロナウイルス感染症のり患による労働災害を除く)



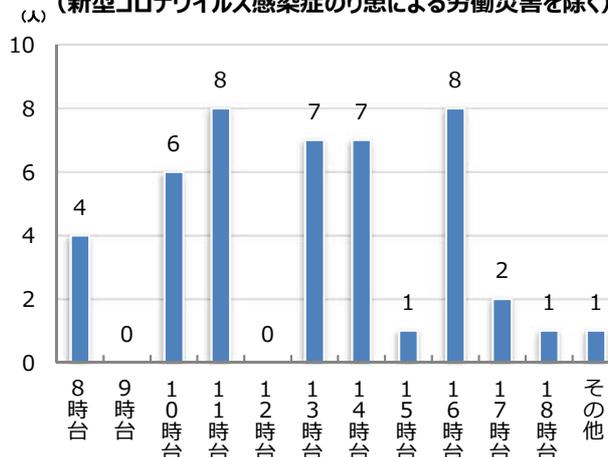
### (6) 時刻別

死亡災害が発生した時刻別にみると、第10図に示すとおり、

11、16時台	… 8人 (17.8%)
13、14時台	… 7人 (15.6%)
10時台	… 6人 (13.3%)
8時台	… 4人 (8.9%)
17時台	… 2人 (4.4%)
15時台、18時台、その他	… 1人 (2.2%)

となっており、**11時台及び16時台**に多く発生しています。

第10図 時刻別（死亡）  
(新型コロナウイルス感染症のり患による労働災害を除く)



## (7) 年齢別

死亡災害に遭った労働者の年齢別にみると、第11図に示すとおり、

50歳代	…16人 (35.6%)
40歳代	…10人 (22.2%)
60歳以上	…7人 (15.6%)
30歳代	…6人 (13.3%)
20歳代	…5人 (11.1%)
20歳未満	…1人 (2.2%)

の順で40歳代以上の中高年齢で73.3%と多く発生しています。

## (8) 職種別

死亡災害に遭った労働者の職種別にみると、第12図に示すとおり、

一般作業員	…13人 (28.9%)
土木作業員	…8人 (17.8%)
大工、型枠工	…6人 (13.3%)
重機、トラック運転手	…6人 (13.3%)
鳶	…4人 (8.9%)
電気工	…4人 (8.9%)
鉄筋、溶接工	…2人 (4.4%)
現場代理人等管理者	…2人 (4.4%)

の順で多く発生しています。

## (9) 経験年数別

死亡災害に遭った労働者の経験年数別にみると、第13図に示すとおり、

20年以上	…19人 (42.2%)
1年～5年未満	…8人 (17.8%)
10年～15年未満	…6人 (13.3%)
15年～20年未満	…5人 (11.1%)
5年～10年未満	…4人 (8.9%)
1年未満	…3人 (6.7%)

の順で経験年数の長い20年以上で42.2% (19人)と多く発生しています。

## (10) 土木の工事種別

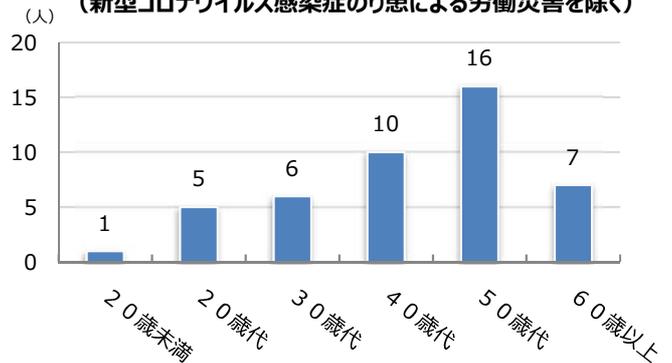
土木工事で発生した死亡災害は16人であり、建設業全体の35.6%を占める。

工事の種別をみると、第14図に示すとおり、

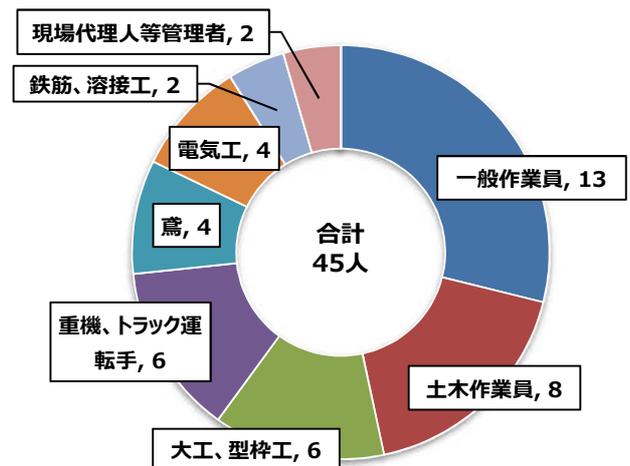
土木その他工事	…9人 (56.3%)
道路工事	…4人 (25.0%)
港湾・海洋工事	…2人 (12.5%)
橋梁工事	…1人 (6.3%)

の順で発生しています。

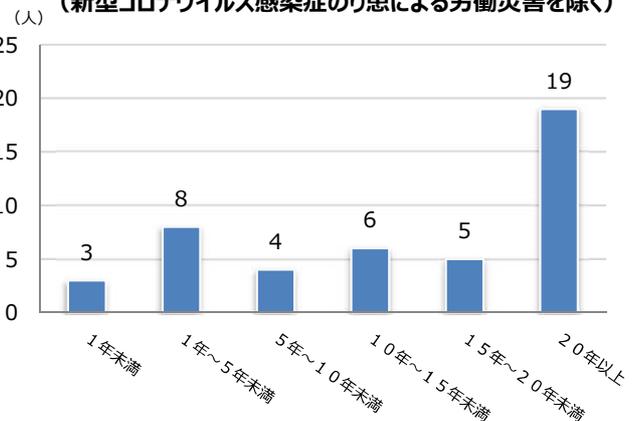
第11図 年齢別 (死亡)  
(新型コロナウイルス感染症のり患による労働災害を除く)



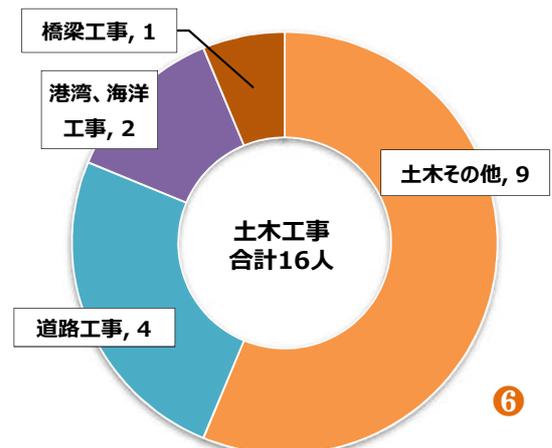
第12図 職種別 (死亡)  
(新型コロナウイルス感染症のり患による労働災害を除く)



第13図 経験年数別 (死亡)  
(新型コロナウイルス感染症のり患による労働災害を除く)



第14図 土木の工事種別 (死亡)  
(新型コロナウイルス感染症のり患による労働災害を除く)



## (11) 建築の工事種別

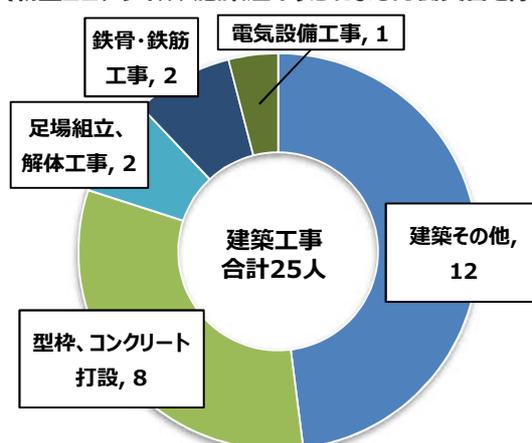
建築工事で発生した死亡災害は25人であり、建設業全体の55.6%を占める。

工事の種別をみると、第15図に示すとおり、

建築その他	… 12人 (48.0%)
型枠、コンクリート打設	… 8人 (32.0%)
鉄骨、鉄筋工事	… 2人 (8.0%)
足場組立、解体工事	… 2人 (8.0%)
電気設備工事	… 1人 (4.0%)

の順で発生しています。

第15図 建築の工事種別（死亡）  
（新型コロナウイルス感染症のり患による労働災害を除く）



## (12) 墜落の高さ別（建築）

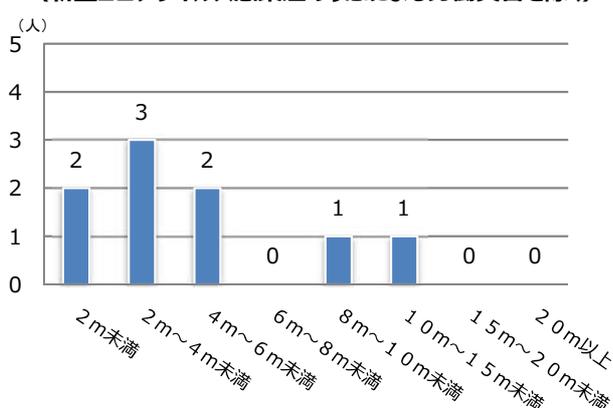
建築工事で発生した死亡災害のうち、墜落災害は9人である。墜落の高さでみると、第16図に示すとおり、

2m～4m未満	… 3人 (33.3%)
2m未満	… 2人 (22.2%)
4m～6m未満	… 2人 (22.2%)
8m～10m未満	… 1人 (11.1%)
10m～15m未満	… 1人 (11.1%)

の高さで発生しています。

墜落の高さが10m未満で88.9%を占めており、2m未満であっても、2人が死亡している。

第16図 墜落の高さ別（死亡）  
（新型コロナウイルス感染症のり患による労働災害を除く）



## (13) 工事の発注者別

死亡災害が発生した工事の発注者別にみると、第17図のとおり、

個人発注	… 15人 (33.3%)
法人発注	… 9人 (20.0%)
国発注	… 8人 (17.8%)
市町村発注	… 4人 (8.9%)
県発注	… 3人 (6.7%)
公社・公団等発注	… 1人 (2.2%)

の順に多く発生しています。

公共・民間の別でみると、

公共工事	… 16人 (35.6%)
民間工事	… 24人 (53.3%)

となっています。

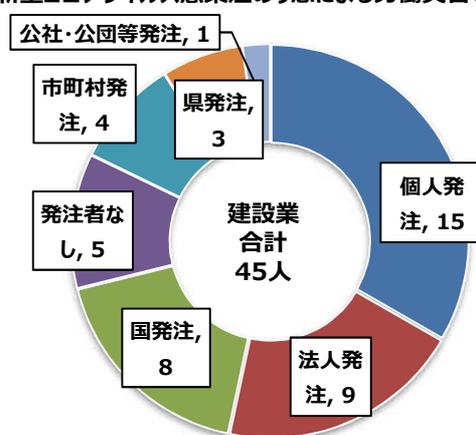
## (14) 請負別

死亡災害が発生した工事の請負別にみると、第18図に示すとおり、

元請（発注者なし含む）	… 14人 (31.1%)
一次下請	… 23人 (51.1%)
二次下請	… 5人 (11.1%)
三次下請以下	… 3人 (6.7%)

となっており、下請け事業者の割合が68.9%と多く発生しています。

第17図 工事の発注者別（死亡）  
（新型コロナウイルス感染症のり患による労働災害を除く）



第18図 請負別（死亡）  
（新型コロナウイルス感染症のり患による労働災害を除く）

